

日本とオーストラリアの教育方針の違い

佐藤 響（高校1年）

以前、あるテレビ番組で、「学力世界 1 位になったフィンランドでは、日本のように協調性や集団行動ではなく、授業内容が身につけているかということに重きを置いている」というように外国の教育方針について紹介していました。その番組をきっかけにオーストラリアの教育方針について知りたくなったため、学習テーマにしました。

先ほども述べましたが、日本では「みんなと同じ行動をすることが正しいこと」というように協調性や集団行動が重視されています。例として、髪染めやピアスを禁止にしている学校が多いことが挙げられます。その反面、オーストラリアではメイク・髪染め・ピアス・指輪をつけることなどが許可されています。また、カムデンハイスクールの先生に聞いてみたところ、生徒を教育するうえで大切にしていることは、「授業内容に興味を持ってもらうこと」「授業を楽しんでもらうこと」「初めに自分の意見をはっきりさせてからグループワークの段階に移ること」だとおっしゃっていました。



ボンダイビーチ

これらのことから、「団体」を大切にするのか、「個人」を大切にするのかということが双方の教育方針の違いなのではないかと感じました。

『海外のスラング』

・ホストフレンドが使っていた or 実際に使ってみて通じたスラング

	省略なし	意味		省略なし	意味
brb	be right back	すぐに戻る	gtg	gotta go	行かなきゃ
idk	I don't know	知らない	btw	by the way	ところで
ttyl	talk to you later	また後で	thx	thanks	ありがとう
lol	laughing out loud	爆笑	kk	okok	オーケー
XD		爆笑（顔文字）	umm		うーん、
u	you	あなた	r	are	
2	to		4	for	
2	too				

～応用編～

thx 4	Thanks for	～してくれてありがとう	ur	your/you're	あなたの/ あなたは～です
u2	You too	あなたも			

ネイティブの方々はスラングを使うということのほかにも、文頭を大文字にしない・ピリオドやアポストロフィを省略するという傾向があるのだとわかりました。

実際に使ってみると、向こうの方々も喜ぶと思います！